

2023年3月期 | 第74期
決算説明資料



松田産業株式会社
2023年5月23日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追求ものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1. 決算の概要（2023年3月期）
2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況
3. セグメント別の業績と2024年3月期見通し

Appendix

1. 決算の概要（2023年3月期）



4期連続で
増収増益
を実現
(利益は当期純利益)

連結売上高・営業利益
過去最高
3,510 億円 / **138** 億円

貴金属関連事業売上高
過去最高
2,465 億円

食品関連事業
売上高
初の**1,000** 億円超

ROE・ROA
経営目標を超える
12.2 % / **11.3** %
(目標 : ROE 9% ROA 10%)

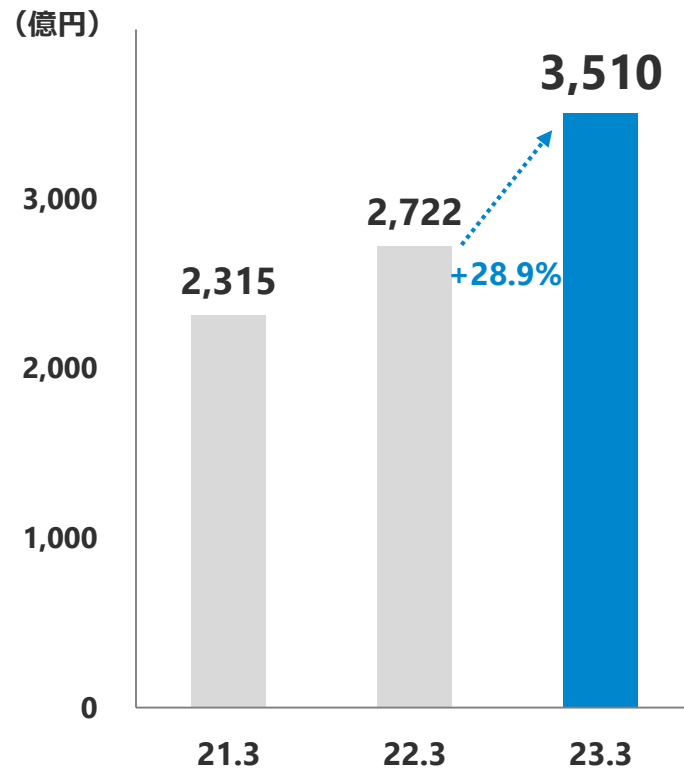
1株当たり配当金 (24/3期予想)
6期連続増配
60 円 (+10円)

4期連続で増収増益を実現し、過去最高の業績を更新。売上高は3,000億円を突破

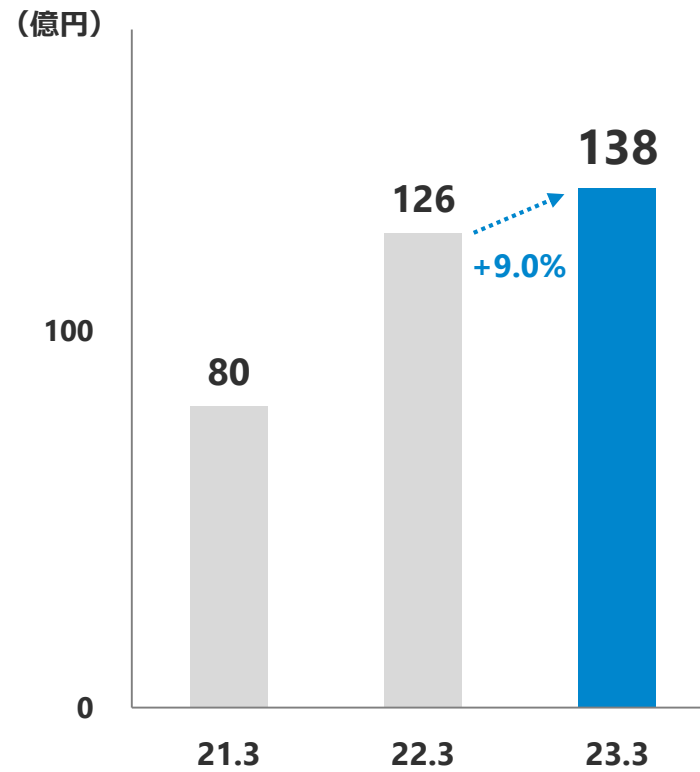
(億円)

	22年3月期	23年3月期	増減	
売上高	2,722	3,510	+787	+28.9%
営業利益	126	138	+11	+9.0%
営業利益率	4.7%	3.9%	▲0.7pt	-
経常利益	137	138	+1	+0.8%
当期純利益	95	96	+1	+1.4%
1株当たり当期純利益 (円)	366.4	371.7	+5	+1.4%
ROE	13.7%	12.2%	▲1.5pt	-

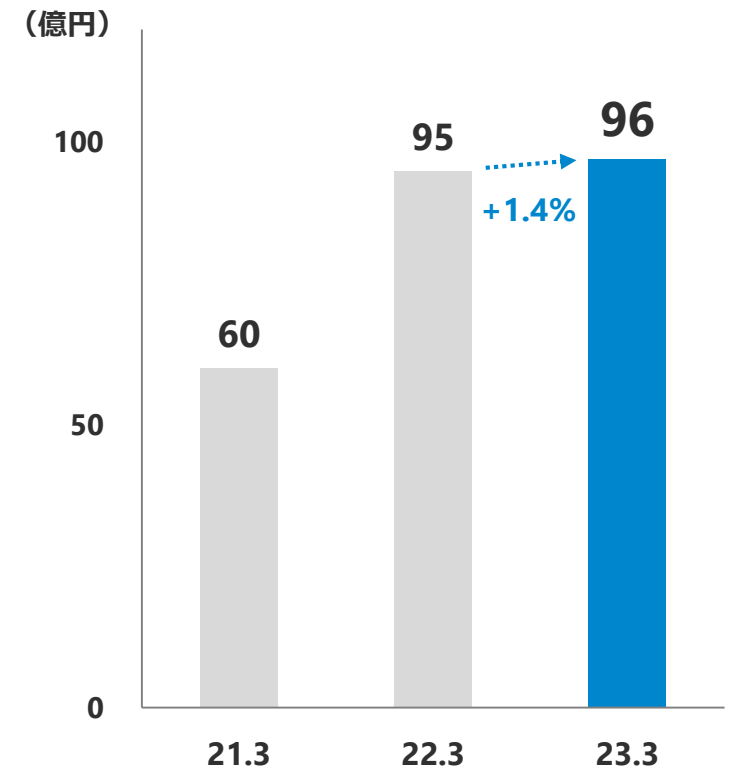
売上高



営業利益



当期純利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	22年3月末	23年3月末	増減	増減要因
流動資産	860	893	+32	(+) 取扱数量増加に伴う棚卸資産の増加
固定資産	297	398	+101	(+) 入間地区土地・建物、北九州市土地、ERP刷新
資産合計	1,157	1,292	+134	
【負債の部】				
	22年3月末	23年3月末	増減	増減要因
流動負債	335	278	▲56	(-) 短期借入金の返済
固定負債	77	166	+88	(+) 設備投資を目的とする長期借入金の増加
うち有利子負債	163	192	+28	
負債合計	413	445	+31	
【純資産の部】				
	22年3月末	23年3月末	増減	増減要因
純資産合計	744	846	+102	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,157	1,292	+134	
自己資本比率	64.2%	65.4%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	22年3月期	23年3月期	増減	増減要因
営業キャッシュ・フロー	70	106	+36	(+) 税金等調整前当期純利益、減価償却費の増加 (-) 棚卸資産増加、法人税納付額増加
投資キャッシュ・フロー	▲25	▲121	▲96	(-) 固定資産の取得
フリー・キャッシュ・フロー	45	▲15	▲60	
財務キャッシュ・フロー	▲22	13	+36	(+) 設備投資を目的とする長期借入金の増加
現金及び現金同等物の増減	25	3	▲21	
現金及び現金同等物の期末残高	113	117	+3	

2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況



23/3期も過去最高の業績を更新し、中期計画目標値を前倒しで達成

(億円)

	FY16-18 平均	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 予想	FY25 目標
売上高	1,871	2,382	3,510	3,300	3,000
営業利益	42	90	138	90	130
営業利益率	2.2%	3.7%	3.9%	2.9%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	12.2%	7.3%	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	11.3%	-	10.0%

基本方針

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし...

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- ESG経営の推進で企業価値向上

2022年度（実績）

2023年度（予定）

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

高付加価値商品/サービスの開発・技術構築
ECO PGC、PTPマテリアルリサイクル

新規事業展開に向けた製錬環境処理設備/拠点の拡充
二次電池リサイクル事業、PTPマテリアルリサイクル

事業規模・領域拡大に向けた生産インフラの拡充
北九州への進出、入間地区リニューアル

食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

グローバル展開と調達ネットワークの拡充

Matsuda Sangyo Trading India Pvt. Ltd.（インド拠点）、EUビーフ

顧客密着営業と新規事業/商圏の創出
静岡出張所の稼働

経営基盤強化

IT活用による管理機能強化と生産性向上

ERP刷新、トレンド技術の導入

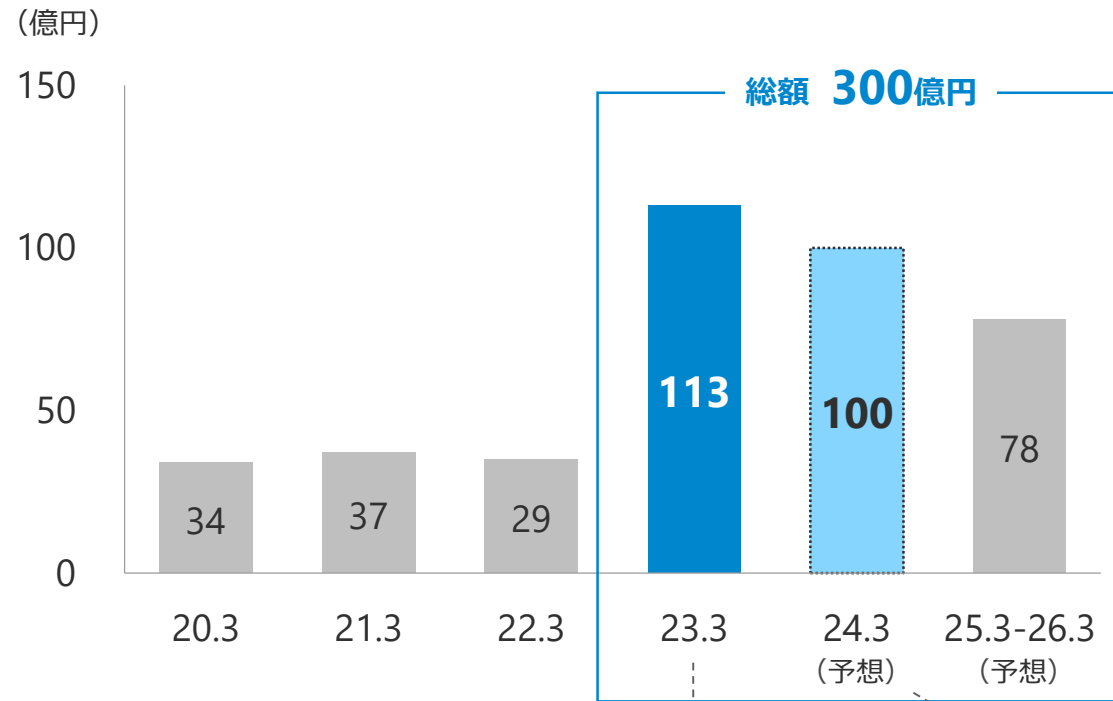
人的資本経営の推進

健康経営の推進、多様な人材が活躍できる職場環境作り

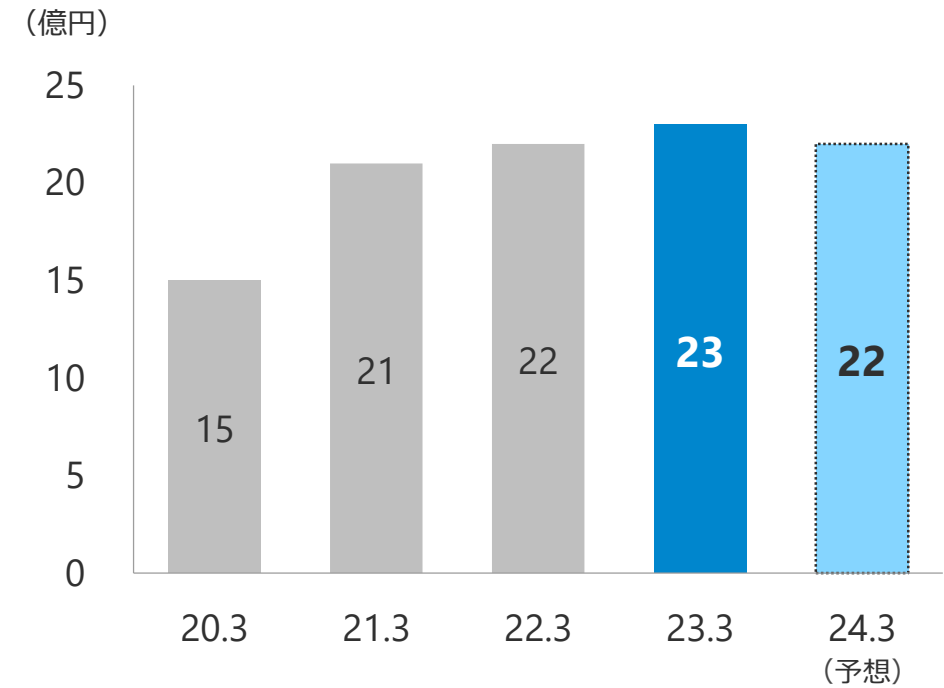
グループガバナンス強化に向けた取り組み
海外ガバナンス強化、情報セキュリティ強化、三線ディフェンスの強化

資本効率向上に向けた取り組み
事業ポートフォリオマネジメントの強化

設備投資額の推移



減価償却費の推移



【23.3期 設備投資 (実績)】

- 埼玉県入間地区、福岡県北九州地区
土地・建物 86億円
- 製錬環境処理設備・拠点拡充等 20億円
- IT投資 7億円

【24.3期 設備投資 (予想)】

- 埼玉県入間地区工場機能拡充 17億円
- 福岡県北九州拠点展開 28億円
- 製錬環境処理設備・拠点拡充等 43億円
- IT投資 12億円

重要課題 (マテリアリティ) に対する22年度の取組みは以下の通り

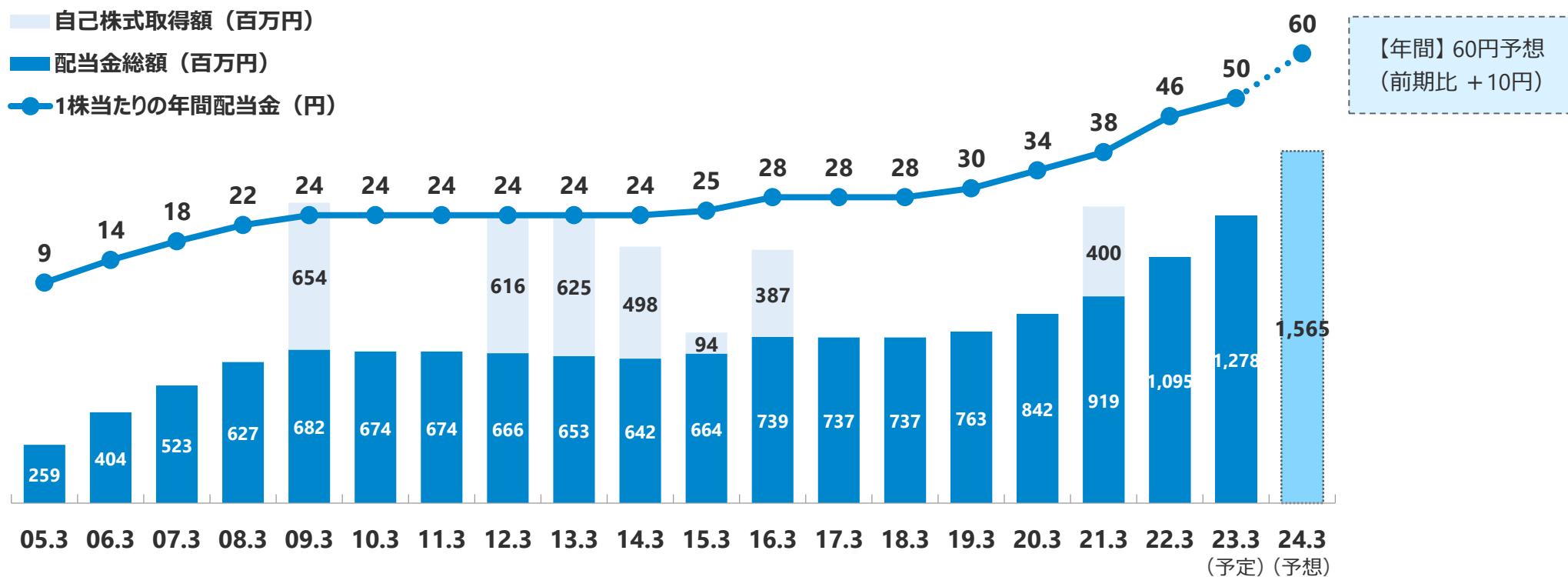
		重要課題 (マテリアリティ)	22年度取組み実績
E	環境	<p>環境負荷低減と事業成長の両立</p> <p>① エネルギー消費及び温室効果ガスの排出 ② 大気への排出 ③ 有害物質 ④ 固形廃棄物 ⑤ 汚染防止と資源削減 ⑥ 水の管理 ⑦ 生物多様性</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ GHG排出削減への取組み策定 □ 国際イニシアチブへの取組み推進 <ul style="list-style-type: none"> ① TCFD賛同と開示 ② CDP回答とスコアリング (B-) ③ SBT認定準備
	品質 安全性	<p>お客様満足の上昇と社会の信用確保</p> <p>① 製品/サービスの正確な情報の提供 ② 商品の安心・安全の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ RBA遵守体制整備 □ 人権方針の策定 □ 松田産業グループサプライヤーガイドラインの策定
人権 労働	<p>多様な人財活躍による成長加速</p> <p>① 適材適所 ② ダイバーシティ&イノベーション ③ ワークライフバランス</p>		
G	組織 統治	<p>サステナビリティ委員会を設置し、グループ全体の取組を統制</p> <p>① マネジメントシステム (ガバナンス) ② 情報セキュリティ ③ サプライヤーとのパートナーシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ サステナビリティ委員会の設置 □ サステナビリティ関連方針の制定 (サステナビリティ基本方針、人権方針、調達方針) □ CSIRTの設置準備

資本政策

- 成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



3. セグメント別の業績と2024年3月期見通し

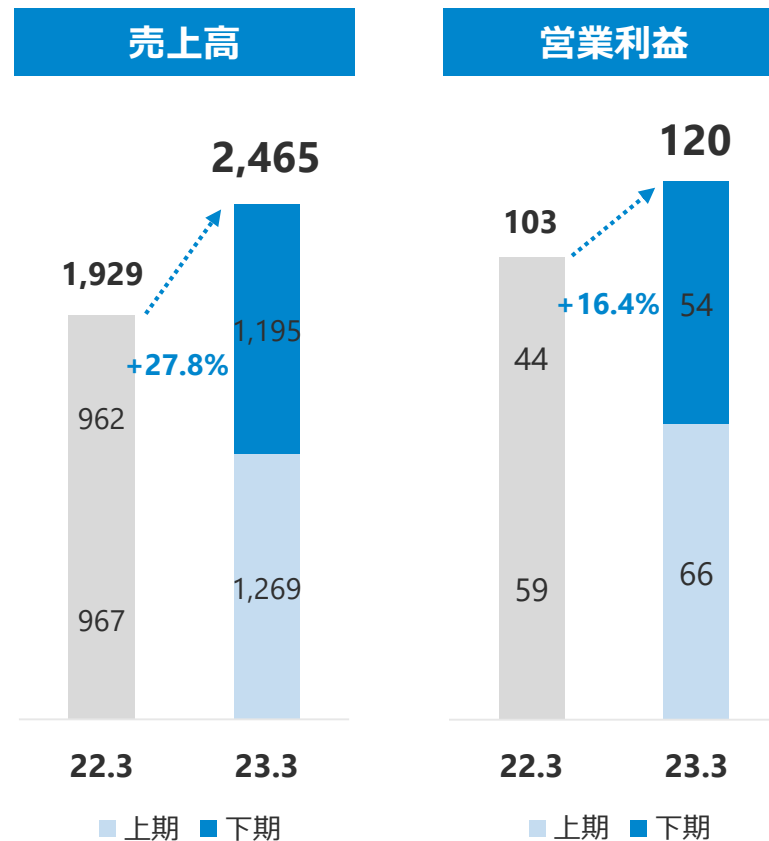


セグメント別の業績（貴金属関連事業）

貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物の処理受託の増加ならびに、製商品販売の拡大によって、増収増益を達成（過去最高の業績更新）

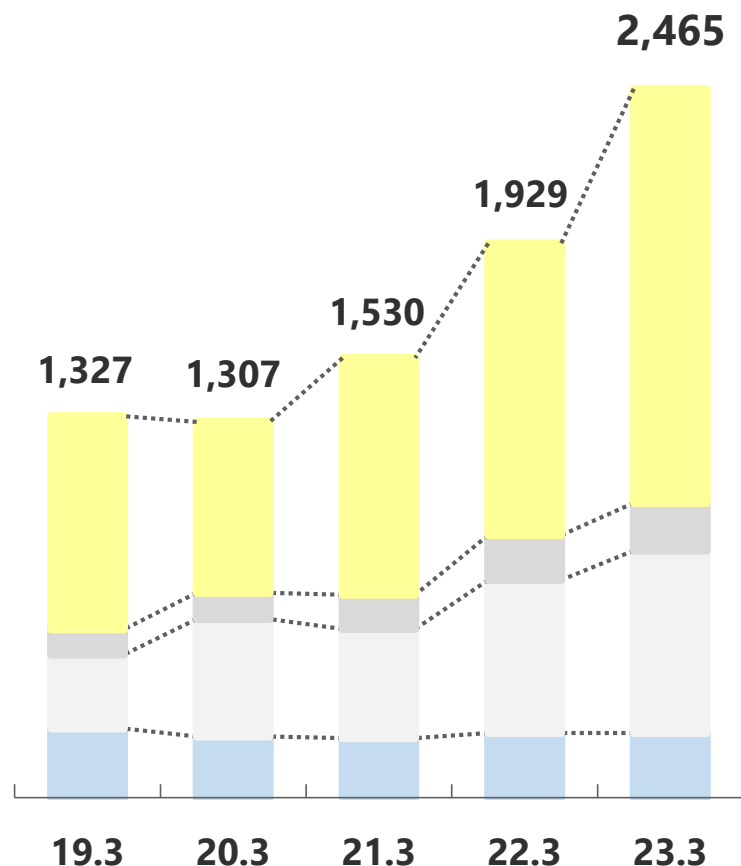
（億円）

	22年3月期	23年3月期	増減	
売上高	1,929	2,465	+536	+27.8%
営業利益	103	120	+16	+16.4%
営業利益率	5.4%	4.9%	▲0.5pt	-



品目別売上高の推移（貴金属関連事業）

金製品、銀製品及び白金族製品等の販売量増加、金価格上昇などにより、
白金族相場下落の影響を抑えて、全体の売上高は前期比+536億円

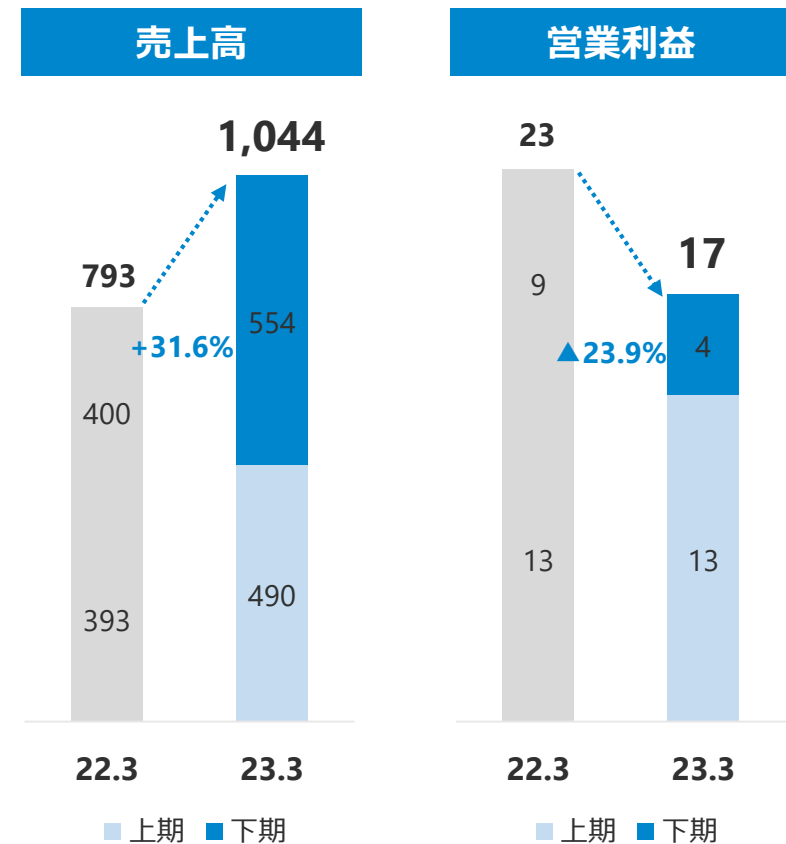


(億円)				
	23年3月期	増減		増減要因
金	1,439	+425	+42.0%	数量増加 +22.0%、価格上昇 +20.0%
銀	166	+9	+5.9%	数量増加 +1.4%、価格上昇 +4.5%
白金族	634	+101	+19.1%	数量増加 +20.0%、価格下落 ▲0.9%
その他	225	▲0	▲0.1%	産業廃棄物処理+19.0% 電子材料等商品など減少

セグメント別の業績（食品関連事業）

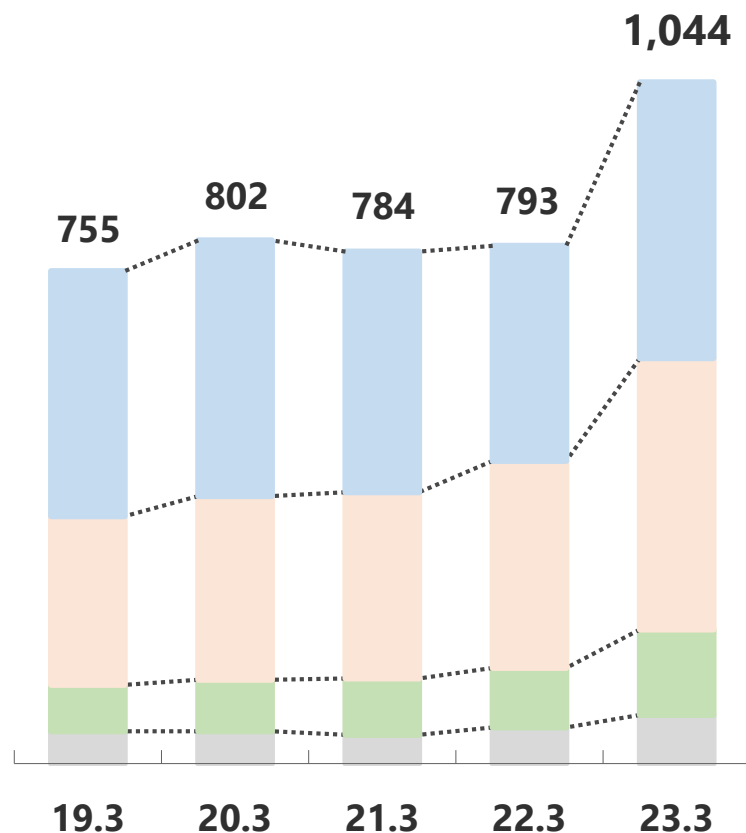
水産品、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したことにより増収（初の売上高1,000億円超）
一方で、運送費及び保管料の増加や仕入価格上昇の影響により減益

	22年3月期	23年3月期	増減	
				(億円)
売上高	793	1,044	+250	+31.6%
営業利益	23	17	▲5	▲23.9%
営業利益率	2.9%	1.7%	▲1.2pt	-



品目別売上高の推移（食品関連事業）

各品目において、販売量は増加し、販売価格も総じて大幅に上昇したことにより、
全ての品目で売上高は増加し、全体では前期比+250億円



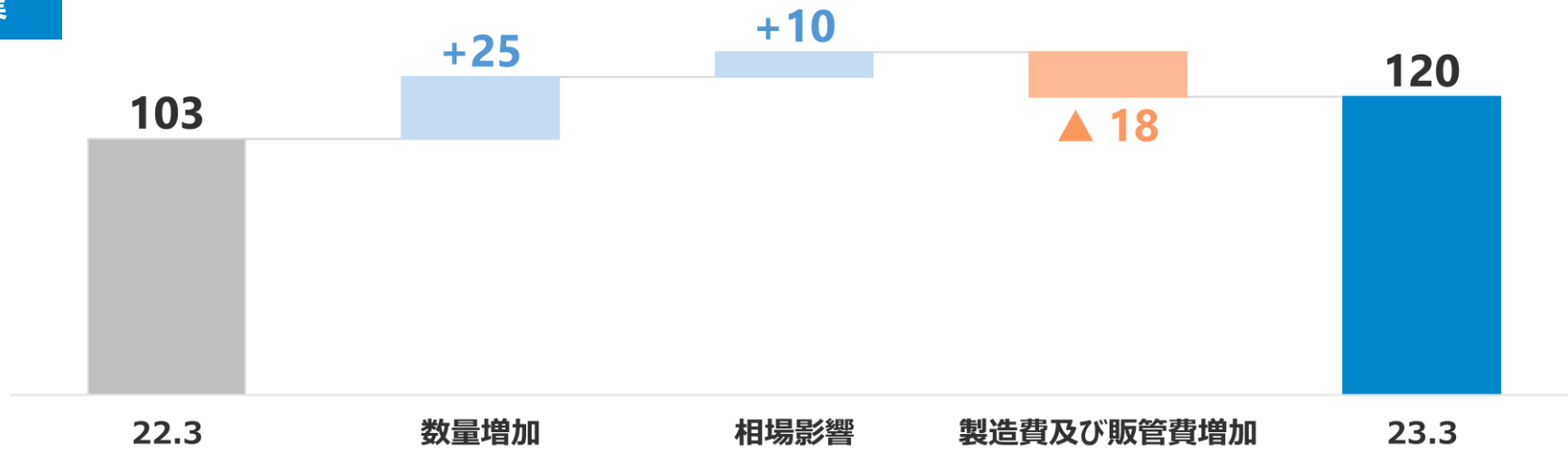
(億円)

	23年3月期	増減		増減要因
水産品	422	+93	+28.4%	数量増加 +5.3%、価格上昇 +23.1%
畜産品	415	+97	+30.7%	数量増加 +5.6%、価格上昇 +25.1%
農産品	131	+40	+44.4%	数量増加 +21.8%、価格上昇 +22.6%
その他	74	+19	+35.0%	数量増加 +6.5%、価格上昇 +28.5%

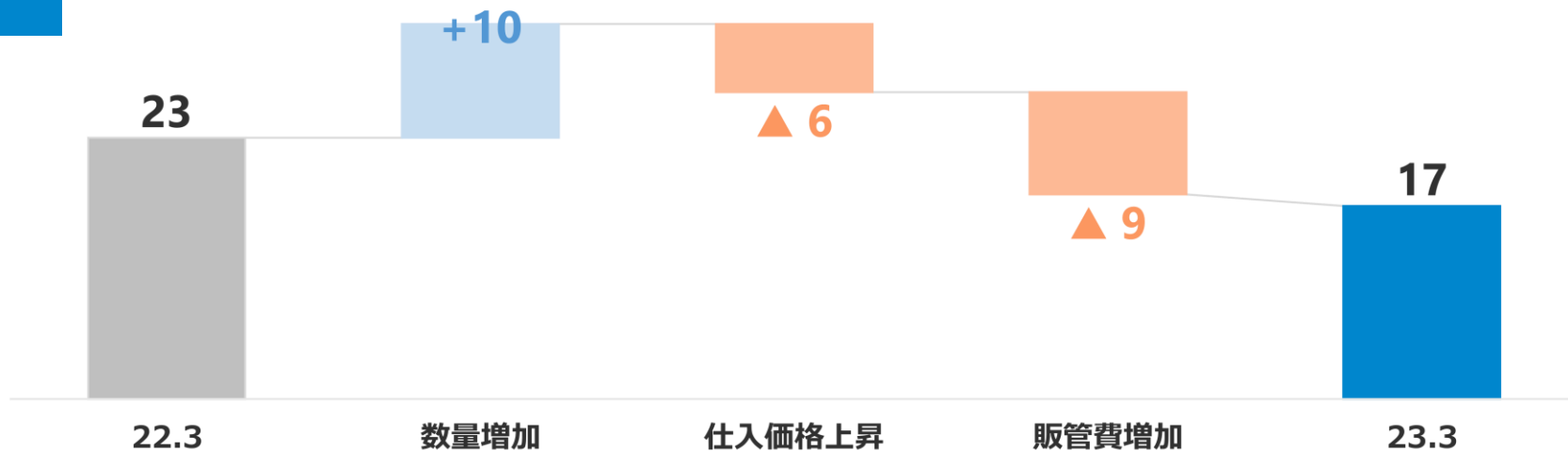
営業利益の増減

貴金属関連事業

(億円)



食品関連事業



24/3期は、貴金属関連事業の外部環境悪化を背景に、減収減益を予想

(億円)

	23年3月期 実績	24年3月期 予想	増減	
売上高	3,510	3,300	▲210	▲6.0%
営業利益	138	90	▲48	▲34.9%
営業利益率	3.9%	2.9%	▲1pt	-
経常利益	138	93	▲45	▲32.8%
当期純利益	96	65	▲31	▲33.0%
1株当たり当期純利益 (円)	371.7	249.1	▲122.5	▲33.0%
ROE	12.2%	7.3%	▲5pt	-

貴金属関連事業は、電子デバイス分野の操業・生産低下の見通しから、取扱数量の減少による大幅減益を予想
 食品関連事業は、上昇が続いた価格の下落見通しを含め、売上・営業利益とも凡そ横這いを予想

(億円)

	23年3月期 実績	24年3月期 予想	増減		
売上高	貴金属関連事業	2,465	2,300	▲165	▲6.7%
	食品関連事業	1,044	1,000	▲44	▲4.3%
	合計	3,510	3,300	▲210	▲6.0%
営業利益	貴金属関連事業	120	71	▲49	▲41.0%
	食品関連事業	17	19	+1	+7.1%
	合計	138	90	▲48	▲34.9%

	貴金属関連事業	食品関連事業
24年3月期 業績予想	売上高 2,300億円（前期比 ▲165億円） 営業利益 71億円（前期比 ▲49億円）	売上高 1,000億円（前期比 ▲45億円） 営業利益 19億円（前期比 +1億円）
外部環境と数量	自動車を除く需要の減少と過剰在庫の調整に伴い、電子デバイス分野は操業低下（回復は下期以降の見立て） ➡ 貴金属リサイクル取扱量、製商品販売数量の減少	インバウンド需要の拡大などで外部環境は回復顧客ニーズの多様化に備えた調達力を強化 ➡ 水産品、農産品を中心に販売数量は増加
販売価格	貴金属相場：23年3月期の下期平均並みに想定	23年3月期の上期平均価格程度まで下落を想定
設備投資に伴う償却費	生産インフラの拡充と強化、国内外の拠点拡充と整備	
サステナビリティ経営の推進	脱炭素に向けた取り組み、国際イニシアチブ（CDP、TCFD、TNFD、SBT etc.）への対応、労働環境の整備、人的資本経営の推進	
IT投資	ERP刷新、DXの推進とトレンド技術（RPA、BI etc.）の導入、情報セキュリティ対策	

Appendix

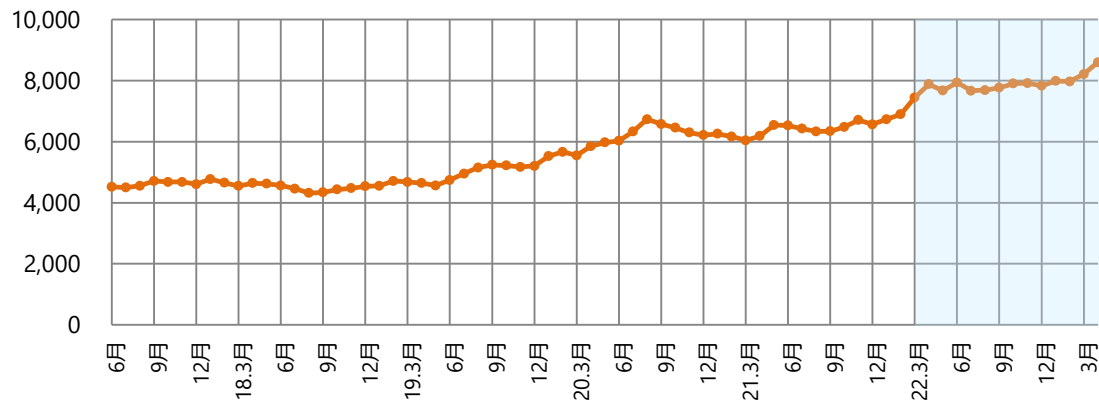


(億円)

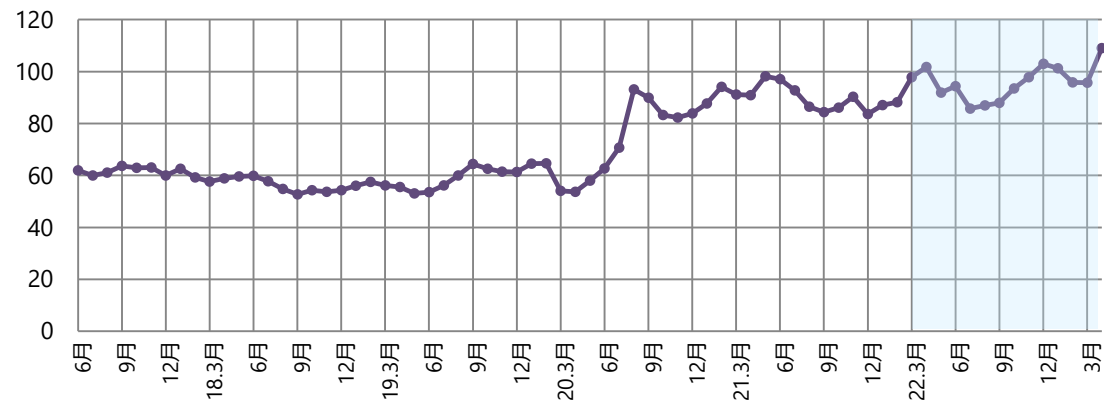
	23年3月期実績			24年3月期予想			増減				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		
売上高	貴金属関連事業	1,269	1,195	2,465	1,080	1,220	2,300	▲189	▲15.0%	+24	+2.0%
	食品関連事業	490	554	1,044	500	500	1,000	+9	+2.0%	▲54	▲9.8%
	合計	1,760	1,750	3,510	1,580	1,720	3,300	▲180	▲10.2%	▲30	▲1.7%
営業利益	貴金属関連事業	66	54	120	32	38	71	▲33	▲51.1%	▲15	▲28.8%
	食品関連事業	13	4	17	7	11	19	▲5	▲42.7%	+6	+162.2%
	合計	79	58	138	40	50	90	▲39	▲49.7%	▲8	▲14.7%

24年3月期は、金 8,000円/g、銀 95円/gを想定

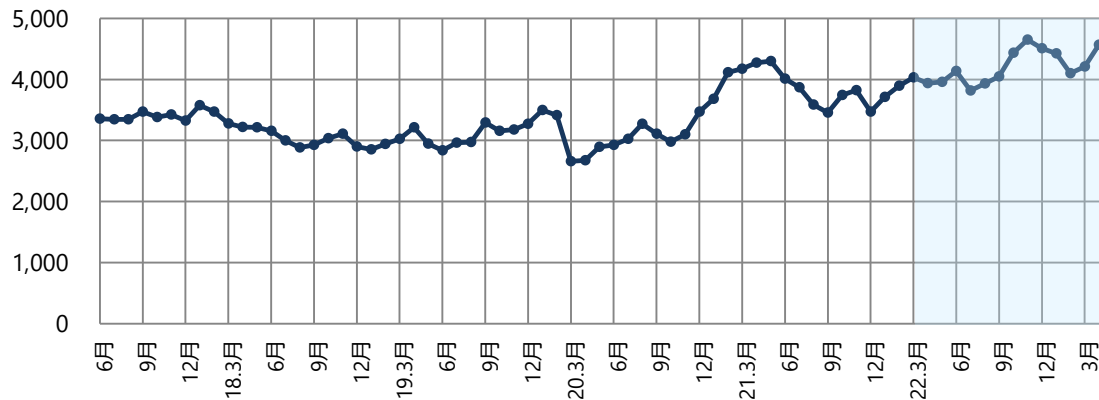
金 (山元建値 円/g)



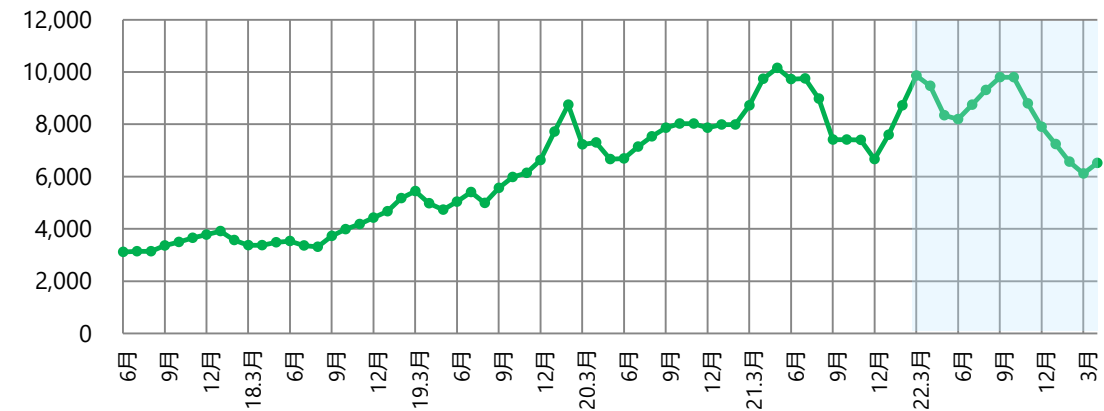
銀 (山元建値 円/g)



白金 (N・Y\$建円換算 円/g)



パラジウム (N・Y\$建円換算 円/g)





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.